

日冬期千島航路に就て

武富栄一

千島の冬期航路は大正十四年一二月の候白鳳丸が強行
 古丹島まで行ったことが初である。近年毎年古丹海峡迄
 航路し、本年は阿頼度島北三十五哩即ち勸警加木カル十
 中西約世北況に達した。一、二月には根室港到路港に
 は相模原^い弘^い航^い路^いが^いあ^いる^いの^いで^いその^い北^いの^い千^い島^いは^い一^い層^い寒^いく
 小千島との附近は氷が張りつめたりするところと想像せら
 れ千島は冬は航路が通ぬと云ふことか近年近北海道方面
 の常識であつた。然し伊^いノ^いエ^い足^いノ^い千^い島^いは^い案^い外^い温^いか^いく^い北^い海^い
 道の果地は伊豫信州迎の山果より温度高い。今近帯下十
 度以下の低温に出合つたことは未^いだ^いの^い航^い路^いは^い女^いを^いか^いつ
 た。昨年今年も殊に温かく帯下十度以下に落ちたことは

日形 イーグル印刷作用機

No.

かつら。冬の千島の海軍艦隊作業は艦隊根拠地として

安は天候候復を待ち得る。避難港が出来た。近は困難で

全ある。殊に一夏の艦隊五方や艦隊船と保つこと出来る

難である。只般所すなけり。丈夫な船にすなへり。水は

祥水装置をとり。特殊の装置はいろいろある。

特殊

不可解の事はいろいろある

日形 イーグル印刷作用鏡